

学校教育評価表（2025年度）

学校名 大津市立伊香立小学校

評価の基準（3:よくできた 2:できた 1:あまりできなかった 0:まったくできなかった）

項目	評価の観点	自己評価 (3・2・1・0)	学校関係者評価 (3・2・1・0)	関連するSDGsの目標 (参考)
主体的・対話的で深い学び	1 支持的風土を育てる学級・学年集団づくりの実践	2	3	
	2 協働する体験・伝え合う喜び・コミュニケーション能力の育成を図る授業の工夫改善 (ICTの活用含む)	2		
	3 主体的・対話的で深い学びを追究する授業研究や研修会の実施	2		
道徳教育の充実	4 生命を尊重する心やいじめを許さない態度などの道徳的実践力を育てる活動の実施	2	3	
	5 ものごとを様々な視点からとらえ考えさせる道徳科の授業・評価に関する研究	2		
	6 保護者等への道徳科の授業公開	2		
体力づくり	7 たくましい心と体を育てる魅力ある授業の工夫改善	2	3	
	8 体力づくりを推進する運動実践	2		
	9 生涯にわたって健康を保持増進し、進んで体を動かそうとする意欲の育成	2		
指導改善 (組織的・計画的)	10 学力向上を目指した指導体制・指導方法の工夫改善	2	3	
	11 教職員の指導力、情報活用能力、及び組織的な教育力の向上	2		
	12 働き方改革の取組と教育活動の質の改善	2		
育ちと学びを支える連携				
① 家庭・地域との連携・協働	13 子育てや家庭教育に対する 保護者への積極的な支援	2	3	
	14 保護者・地域との交流や情報発信、参観、懇談会、研修会の実施、地域人材の活用	2		
	15 防災教育・感染症対策等の推進を含む、地域の実態に応じた安心・安全な学校づくり	2		
② 保幼小中の連携	16 子どもの校種間交流や教員の出前授業	2	3	
	17 校種間の授業公開や合同研修会	2		
	18 保幼小中の接続期の教育課程編成等、円滑な接続を図る校種間のカリキュラム研究	2		
組織的体制の充実				
① 生徒指導体制の充実	19 いじめや暴力行為、不登校等生徒指導上の諸課題の早期発見、日常的な予防指導 ※	2	2	
	20 生徒指導・教育相談体制の確立と組織的な推進 ※	2		
	21 家庭・地域・関係機関との連携による指導	2		
② 特別支援教育の充実	22 個別の教育支援計画及び個別の指導計画の作成と活用	2	2	
	23 組織的・計画的な特別支援教育体制の確立	2		
	24 関係機関と連携した相談体制の充実	2		
※ 特にいじめについては、学校基本方針の評価と関連させて行うこと				
学校満足度	25 児童生徒の学校満足度	2	3	

※	児童生徒アンケートのすべての評価の平均値(3点満点、小数第2位まで記入)	2.46
※	保護者アンケートのすべての評価の平均値(3点満点、小数第2位まで記入)	2.29

* 各校の学校評価書から上記の1~25の観点にかかる自己評価および学校関係者評価結果を取り出し、本表に移記ください。
* 評価の項目と関連が考えられるSDGsの目標を参考として表示しています。

2025年度 学校教育評価書 (大津市立伊香立小学校)

A: 3.0-2.5 B: 2.4-1.5 C: 1.4-0

項目	教職員により自己評価 (3:よくできた 2:できた 1:あまりできなかった 0:まったくできなかった)			保護者によるアンケート (3:そうである・2:どちらかといえばそうである ・1:どちらかといえばそうでない・0:そうでない)			児童アンケート (3:そうである・2:どちらかといえばそうである ・1:どちらかといえばそうでない・0:そうでない)			学校協力者評価 (3:そうである・2:どちらかといえばそうである ・1:どちらかといえばそうでない・0:そうでない)			評価委員会 (3・2・1・0)					
	評価の観点	評定	昨年度	評価項目	評定	昨年度	評価項目	評定	昨年度	評価項目	評定	昨年度	評定	昨年度	意見・提案等	来年度に向けての改善点		
主体的・対話的で深い学び	1	2.1	B	2.2	子どもは、学校に行くのが楽しいと言っている。	2.4	B	2.3	わたしは学校に行くのが楽しい。	2.3	B	2.5	子どもが元気に仲良く学校へ通う姿が見られる。	2.6	A	2.6	2.20	2.31
	2	2.0	B	2.2	子どもは、授業(体育以外)が楽しく分りやすいと言っている。	2.2	B	2.1	わたしは勉強していることがよくわかってる。	2.2	B	2.4						
	3	1.9	B	2.2														
道徳教育の充実	4	2.3	B	2.4	子どもは、学校生活を通して人に優しく、相手を思いやる気持ちが育っている。	2.2	B	2.3	わたしは、学校のきまりを守っている。	2.3	B	2.5	子どもは、学校生活を通して人に優しく、相手を思いやる気持ちが育っている。	2.7	A	2.5	2.26	2.33
	5	1.7	B	1.9				わたしは、困っている人や小さい人に親切にしている。	2.3	B	2.4							
	6	2.3	B	2.2	学校や先生は、道徳の授業内容について積極的に発信している。	2.1	B	2.1	わたしは、道徳の勉強は大切だと思う。	2.5	A	2.7						
体力づくり	7	2.2	B	2.2	子どもは、体育の授業が好きである。	2.3	B	2.3	わたしは、体育の勉強が好きである。	2.5	A	2.5	子どもは元気に体を動かして遊んでいる。	2.5	A	2.6	2.31	2.36
	8	2.1	B	2.2														
	9	2.1	B	2.2	子どもは、運動が好きである。	2.3	B	2.4	わたしは、学校の勉強以外でも体を動かすことが好きである。	2.5	A	2.5						
指導改善(組織的・計画的)	10	1.9	B	2.3	先生は、学力の定着のためにきめ細かな指導をしている。	2.2	B	2.2	先生は勉強をわかりやすく教えてくれる。	2.6	A	2.7	教職員は子どもたちの教育に真摯に取り組んでいる。	2.8	A	2.7	2.40	2.37
	11	2.1	B	2.3	学校は、子どもの学習や生活の様子を、分りやすく正しく評価している。	2.4	B	2.3	担任の先生だけでなく、いろいろな先生が注意してくれる。	2.5	A	2.5	学校は教員の指導力や教育力向上のために積極的に取り組んでいる。	2.9	A	2.5		
	12	2.1	B	1.8														
育ちと学びを支える連携																		
① 家庭・地域連携との	13	1.9	B	2.0	学校は、気軽に相談したり訪問したりできる雰囲気がある。	2.2	B	2.2	学校は気軽に訪問しやすい雰囲気がある。	2.8	A	2.8	教職員は明るく親しみやすい。	2.6	A	2.5	2.42	2.42
	14	2.1	B	2.2	学校は、教育目標やめざす子ども像を分りやすく伝えている。	2.2	B	2.1	学校は教育目標や目指す子ども像を地域に伝えている。	2.6	A	2.7	保護者(PTA)は学校と協力して子育てに取り組んでいる。	2.4	B	2.4		
					学校は、保護者と連携・協力して子どもを育成しようとしている。	2.3	B	2.3	学校は地域の人々と協力して教育活動を進めている。	2.8	A	2.8						
					学校は通信等で日々の教育活動や内容を分りやすく伝えている。	2.3	B	2.4	学校は子どもの様子や教育活動をわかりやすく伝えている。	2.7	A	2.6						
	15	2.0	B	2.2	学校は、避難訓練や感染症対策等安心・安全な学校づくりに取り組んでいる。	2.3	B	2.2	わたしは、避難訓練は大切だと思う。	2.8	A	2.9	学校は防災教育や感染症対策の推進に努め、安心・安全な学校作りに取り組んでいる。	2.5	B	2.4		
16	1.7	B	2.1															
② 保幼小中の連携	17	1.9	B	1.8													1.82	1.90
	18	1.9	B	1.8														
組織的体制の充実																		
① 生徒指導体制の充実	19	2.3	B	2.2	先生は、いじめや仲間はずれを許さない姿勢で指導している。	2.4	B	2.4	先生は、みんなのいじめないところや間違ったことを叱ってくれる。	2.6	A	2.6	学校は、いじめや暴力行為、不登校等生徒指導上の諸課題の早期発見、日常的な予防の指導に取り組んでいる。	2.8	A	2.2	2.41	2.40
	20	2.2	B	2.1	先生は、子どものよさや努力したことを認めようと心がけている。	2.6	A	2.5	先生はみんなのよいところやがんばったことを褒めてくれる。	2.5	A	2.6	学校は、生徒指導・教育相談体制が確立され、組織的に対応している。	2.6	A	2.5		
					先生は、子どもの心配や悩みを理解し、誠実に対応している。	2.4	B	2.3	先生は相談しやすい。	2.2	B	2.4						
	21	2.1	B	2.3	学校は、保護者と連携・協力して子どもを育成しようとしている。	2.3	B	2.3	わたしには、友だちがたくさいる。	2.8	A	2.8	子どもたちは気持ちのよいあいさつや正しい言葉づかいができる。	2.3	B	2.2		
子どもたちは地域の行事に積極的に参加している。					2.3	B	2.7											
② 特別支援教育の充実	22	2.2	B	2.3													2.11	2.23
	23	1.9	B	2.3														
	24	2.2	B	2.1														

別紙参照

※ 特にいじめについては、学校基本方針の評価と関連させて行うこと

学校満足度	2.5	児童生徒の学校満足度	2.5	A	2.5	保護者アンケート	2.30	↑	2.28	児童アンケート	2.46	↓	2.55	2.62	2.54
※ 児童生徒アンケートのすべての評価の平均値(3点満点、小数第2位まで記入)	2.46		教職員自己評価		2.05	↓	2.15								
※ 保護者アンケートのすべての評価の平均値(3点満点、小数第2位まで記入)	2.29				2.0475										

2025年度 学校教育評価書
(大津市立伊香立小学校)

項目	評価の観点		自己評価				評価委員会 (3・2・1・0)		
			小項目 評価	昨年度	中項目 評価	昨年度	意見・提言等	来年度に向けての改善点	
1	主体的・対話的で深い学び	1 支持的風土を育てる学級・学年集団づくりの実践	2.1	B	2.2	1.98	2.20	<p>■子ども同士で話し合ったり学び合ったりする時間の確保を意識した。主体的に学べるように学習計画を工夫し、興味関心の高い教材を取り入れた。</p> <p>■児童が課題意識を持って取り組めるように発問の工夫を行った。</p> <p>■個人での学習だけでなく、グループでの学習を取り入れ、役割分担をするなど、交流が深まるよう工夫した。</p> <p>■めあての設定とふりかえりを重視し、主体的に学びに向かえるように意識して取り組んだ。</p> <p>■児童の実態を見ると、まず、座って学習する、人の話をきく、忘れ物をしないなど、学習の基本を身につけさせることが必要であり、主体的、対話的な学びにまでは至っていないことも多かった。児童の学習意欲が低く、児童が自ら学びたいと思える教材を工夫したい。</p>	<p>◆児童アンケートでは、「先生は勉強をわかりやすく教えてくれる」が2.6ポイントであるのに対し、「わたしは勉強していることがよくわかっている」が2.17ポイントであった。教え方の評価は高いが、学習者自身が「わかった」と実感できていないギャップがある。原因としては、①授業での理解を確かめる仕組みが弱い。②「成功基準」が不明確で、学習のゴールが見えづらい。③振り返り（メタ認知）の時間不足。④授業中の発言機会・交流が少ない。⑤理解を確認しないまま次に進むことで「説明は分かったが、内容は分かっていない」状態に陥っている。等が考えられる。</p> <p>◆次年度以降は、校内研究において、児童の「学習がわかる」を増やす授業改善に取り組み、児童の理解実感を高めることで、学力・主体性・授業満足度を底上げする。</p>
		2 協同する体験・伝え合う喜び・コミュニケーション能力の育成を図る授業の工夫改善（ICTの活用含む）	2	B	2.2				
		3 主体的・対話的で深い学びを追求する授業研究や研修会	1.9	B	2.2				
2	道徳教育の充実	4 生命を尊重する心やいじめを許さない態度などの道徳的実践力を育てる活動の実施	2.3	B	2.4	2.09	2.17	<p>■クラスの実態に合わせた教材を選び、児童の学びを深めるよう努めた。</p> <p>■必要な教材を学校単位で準備し保存しているため、系統的・継続的な学習を行える。</p> <p>■学年内で隔週で授業交換をすることで、他のクラスの児童理解が進んだ。また、授業の準備の軽減につながった。</p> <p>■特別支援学級では、交流級での道徳の学習に加え、ソーシャルスキルカードをつかって、学習に取り組んでいる。</p>	<p>◆児童アンケートでは、「わたしは、学校のきまりを守っている」2.5→2.3「わたしは、困っている人や小さい人に親切にしている」2.4→2.3「わたしは、道徳の勉強は大切だと思う」2.7→2.5といずれも昨年度と比べ、ポイントが減少している。</p> <p>◆児童は、学習内容は理解しているように思われるが、実際の生活では実践することが難しいようである。</p> <p>◆保護者アンケートでは、「子どもは、学校生活を通して人に優しく、相手を思いやる気持ちが育っている」「学校や先生は、道徳の授業内容について積極的に発信している」のポイントが僅かに減少している。</p> <p>◆保護者に対して、学校の取り組みが十分に伝わっていない状況にあるため、道徳参観だけでなく、日頃の道徳での学びを発信し、学校と家庭が同じ方向を向いて教育を進めていく必要がある。</p>
		5 道徳科の授業・評価に関する研究や資料の開発・整備・交流	1.7	B	1.9				
		6 保護者等への道徳科の授業公開	2.3	B	2.2				
3	体力づくり	7 たくましい心と体を育てる魅力ある授業の工夫改善	2.2	B	2.2	2.11	2.20	<p>■準備体操や予備運動などでも十分に体を動かし、運動時間と運動量を意識した授業作りをおこなった。</p> <p>■体育の授業だけでなく、休み時間も外遊びなどを通して運動に関わる環境作りを行った。</p> <p>■特別支援学級では、体育の学習に加え、自立活動で走ったり、体の使い方を学習している。</p>	<p>◆学級や学年によって取り組み内容に差があるため、1年を通してなわとびに取り組む等、学校全体で共通した取り組みを進めていく。</p> <p>◆上述の問題については、教員の体力作りに関する知識や指導技術に差があることが一因であるため、研修体制を整え、指導力の向上に努める。</p>
		8 体力づくりを推進する運動実践	2.1	B	2.2				
		9 体を動かす気持ちよさを体験させ、進んで体を動かそうとする意欲の育成	2.1	B	2.2				
4	指導改善(組織的・計画的)	10 学力向上を目指した指導体制・指導方法の工夫改善	1.9	B	2.3	2.04	2.13	<p>■児童の実態に合った授業改善も必要であるが、学習規律という面からも指導の必要があると感じる。</p> <p>■子どもの話を聞くことを大切に指導を行った。</p> <p>■児童自身が自ら学習したいと思えるような教材づくりを心掛けた。</p> <p>■めあてとふりかえりや子どもの理解度などを確認しながら、授業の内容を考えて改善できるよう意識した。</p> <p>■学年で合同授業を行う中で互いに助言しあい、指導改善に繋がった。</p> <p>■長期休業中は、授業改善および学級経営にかかわるOJTを実施できた。</p> <p>■学力向上推進委員会にて、本校児童の課題について考察し、次年度の方向性を定めた。</p> <p>■定時退勤日や最終退勤時刻の設定を緩やかにし、持ち帰り仕事を減少させ、ワークライフバランスを整えるよう努めた。</p>	<p>◆本校児童の学力的な課題について方向性は定められたが、校内研究のテーマおよび具体的な方法については、再度、学力向上推進委員会で協議する。</p> <p>◆OJT研修を定期的かつ計画的に実施する。OJT推進リーダーに頼るのではなく、互いに切磋琢磨する教職員の風土を築き、若手教員の育成に重点的に取り組む。</p> <p>◆働き方改革として、次年度は通知表の2期制を取り入れ、夏季休業中・冬期休業中に成績処理事務を行い、教材研究等に取り組む時間を勤務時間内に確保する。</p> <p>◆働き方改革として、3学期は、水曜日を午前中短縮5校時日課とし、教材研究等に取り組む時間を勤務時間内に確保する。</p> <p>◆上述2点の改革により、定時退勤日や最終退勤時刻を明確に設定する。</p>
		11 教職員の指導力、情報活用能力、及び組織的な教育力の向上	2.1	B	2.3				
		12 働き方改革の取組と教育活動の質の改善	2.1	B	1.8				

2025年度 学校教育評価書
(大津市立伊香立小学校)

項目	評価の観点	自己評価				評価委員会 (3・2・1・0)			
		小項目 評価	昨年度	中項目 評価	昨年度	意見・提言等	来年度に向けての改善点		
5 育ちと学びを支える連携	① 家庭・地域との連携	13 保護者の子育てに対する積極的な支援	1.9	B	2.0	2.00	2.13	<p>■保護者との連絡をこまめにとり、児童のがんばりや課題等、日頃の姿の共有を図った。</p> <p>■日頃の子どもの様子について、ホームページ等を通じて発信することができた。</p> <p>■登下校の見守りや連絡帳等を通じて、児童についての家庭での困りごとを聞いたり、取り組み方の相談をしたりするなど、連携に努めた。</p> <p>■参観など、子どもの様子を見ていただく行事への保護者の参加が大変多く、関心を持ってくださっていることがわかる。</p>	<p>◆参観授業の内容や取り組み方、教育相談体制については、保護者から高い評価を得ている一方、教育目標や道徳の授業内容の伝達、授業が楽しくわかりやすいかという点については、評価が低く、見えにくい活動領域の発信を工夫する必要がある。</p> <p>◆保護者は、教員が児童の悩みに誠実に対応していると評価しているが、児童は、学校に相談しづらいと感じており、児童の相談行動の弱さが見られる。「相談すれば対応してくれる学校」から「相談できる学校」への転換が必要であり、学級経営・不登校予防・安心感醸成につながる「頼れる大人」の存在を明確化しなければならない。</p>
		14 保護者・地域との交流や情報発信、参観、懇談会、研修会の実施、地域人材の活用	2.1	B	2.2				
		15 防災教育の推進、感染症対策の推進等、安心・安全な学校づくり	2.0	B	2.2				
	② 保幼小中の連携	16 子どもの校種間交流や教員の出前授業	1.7	B	2.1	1.82	1.90		
		17 校種間の授業公開や合同研修会	1.9	B	1.8				
		18 保幼小中の接続期の教育課程の編成等校種間のカリキュラム研究	1.9	B	1.8				
6 組織的体制の充実	① 生徒指導体制の充実	19 いじめや暴力行為、不登校等生徒指導上の諸課題の早期発見、日常的な予防指導 ※	2.3	B	2.2	2.22	2.20	<p>■気になることは学年間ですぐに情報交換し、必要に合わせて管理職にこまめに伝えることを意識した。</p> <p>■担任だけでなく周りの教員にも情報の共有を行うことで、互いに助け合いながら対応ができています。</p> <p>■普段からの児童や保護者との信頼関係作りを意識し、児童が安心して自分らしさをだせるよう意識して取り組んだ。</p>	<p>◆毎週月曜日の放課後に、全教職員で情報共有と生徒指導対応の協議を行う時間を確保している。全教職員で全校児童を教育するという観点から、この取り組みは継続したい。</p> <p>◆伊香立小学校の当たり前をベースに、各クラスで月ごとの生活目標を設定してきたが、形骸化が否めず、取り組みを徹底できていない。目標を絞り込んだり、取り組み期間を変更したりするなどの対策が必要である。</p> <p>◆組織対応を心がけ、報連相を確実に行うことでトラブルが拡大しないように努めた。次年度も継続していく。</p> <p>◆あいさつ・やさしさ・きまりを守る等の土台は、特別活動や道徳教育等を通じて、学校文化として持続的に浸透させる。</p>
		20 生徒指導・教育相談体制の確立と組織的な推進 ※	2.2	B	2.1				
		21 家庭・地域・関係機関との連携による指導	2.1	B	2.3				
	② 特別支援教育の充実	22 個別の教育支援計画及び個別の指導計画の作成と活用	2.2	B	2.3	2.11	2.23		
		23 組織的・計画的な特別支援教育体制の確立	1.9	B	2.3				
		24 関係機関と連携した相談体制の充実	2.2	B	2.1				

※ 特にいじめについては、学校基本方針の評価と関連させて行うこと

学校満足度	25	児童生徒の学校満足度	2.5	A	2.5
-------	----	------------	-----	---	-----

※	児童生徒アンケートのすべての評価の平均値(3点満点、小数第2位まで記入)	2.46
※	保護者アンケートのすべての評価の平均値(3点満点、小数第2位まで記入)	2.29